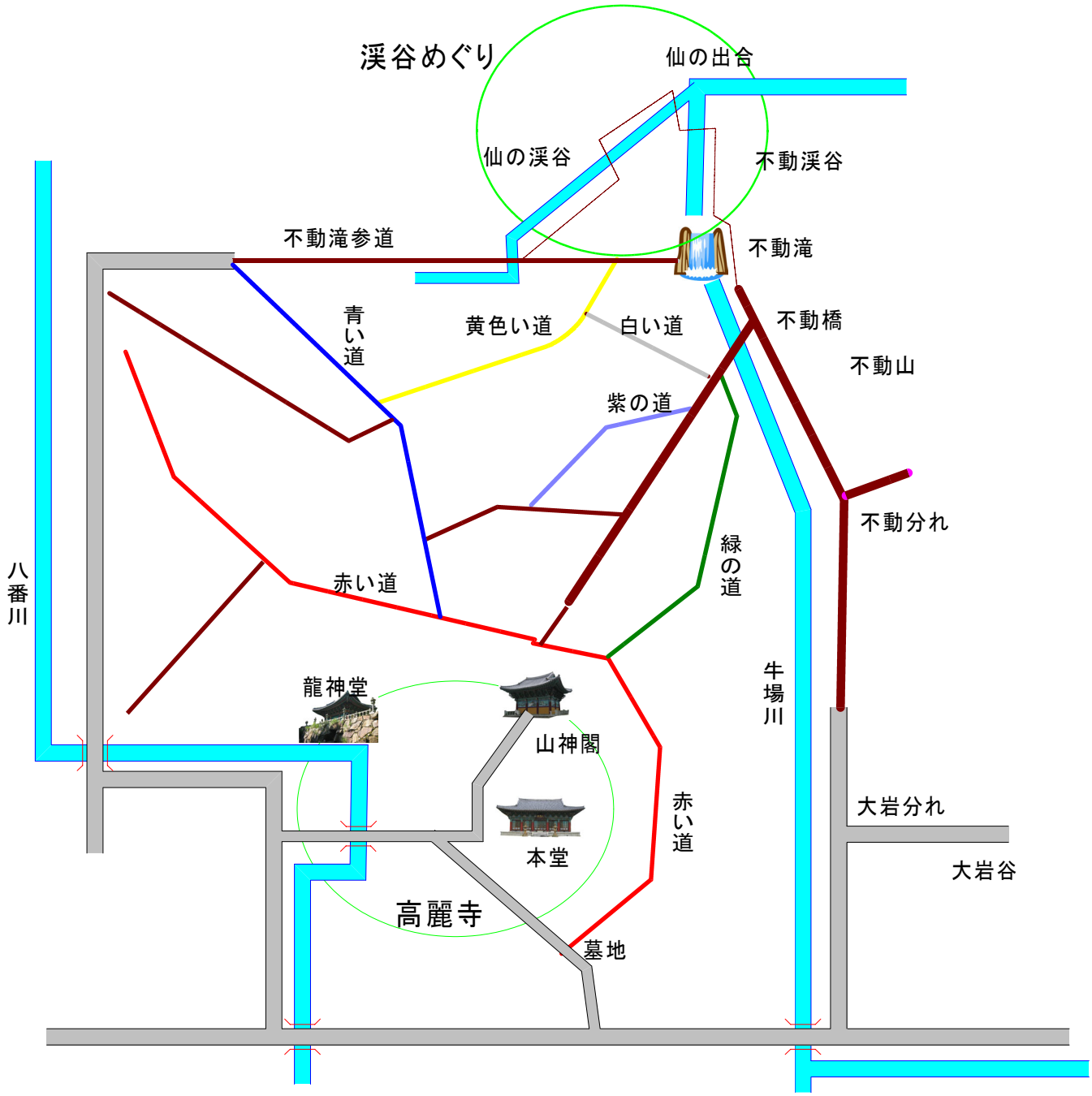
仙の森ガイド

仙の森は、童仙房北部、高麗寺周辺の森です。
おもな山道には、色のついたPE縄を巻いて、目印としています。
グレーは舗装道路、太い茶色は未舗装の車道、細い茶色は目印のない山道です。
表示の山（不動山をのぞく）は、周囲を車道・参道が囲んでいるので、遭難のおそれはありません。
3歳以上の健康な方なら、どなたでも歩けます。
渓谷コース（仙の渓谷、不動渓谷）は、岩場をロープで伝う箇所もあり、案内人が必要です。小学生以上の健康な方が対象です。
仙の森へお越しの際は、**自然を大切にすること、ゴミを捨てないこと、自分の安全は自分で守ること**を留意してください。



高麗寺

森歩きは、高麗寺を起点にするといいでしょう。駐車スペースもたくさんあります。

高麗寺の入口に、高麗ハイツがあります。4階建てのアパート風の建物で、1階が寺務所です。高麗ハイツの前を通って奥へ行くと、霊園の向こうに慰霊塔が見えます。第二次世界大戦で亡くなった在日韓国人の遺骨を収集し収めています。日韓友好の印でもあります。

←本堂は色彩が美しく、エキゾチックです。本堂の後ろを通って最も高いところへ登ると、

左は、山神閣。このあたりで最も高いところにあり、周囲の山並みが見渡せます。ここから山歩き、出発！

赤い道

山神閣から、墓地へ向けて、赤い道があります。このコースが、最も坂が少なく、歩きやすいです。
雰囲気の良い森木立の中をのんびりと歩きます。
山神閣から墓までは約20分です。

幼い子も自分でしっかり歩けます。
途中で、周囲を見渡せる場所があります。
下に見えているのは、高麗寺の本堂と霊園です。

ゴールは墓地。
墓を抜けて坂を下りると、高麗寺へ戻ります。

赤い道は、山神閣から、墓地と反対側へも伸びています。うっそうとしたところもあり、日の差すところもあり、山の尾根伝いに歩きます。いちばん高いところを歩いていきます。最後は、車道へ下りていきます。

途中で、こんな穴があります。何のねぐら？

青い道

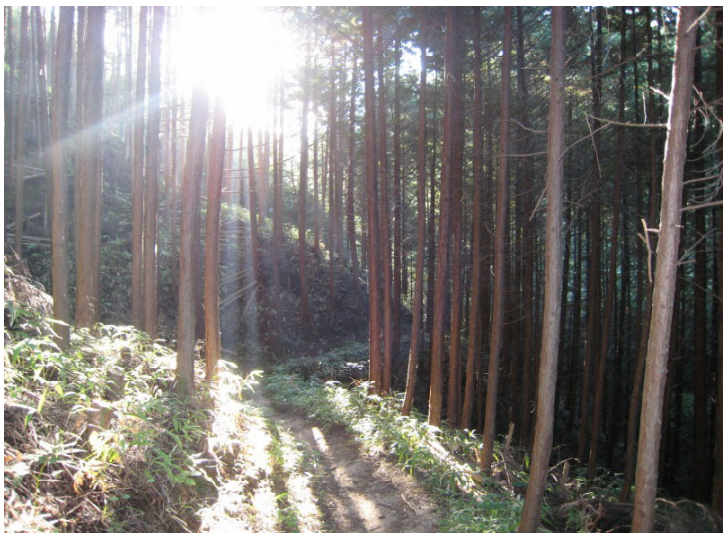
赤い道の中ほどで、北へ折れる道があります。交差点には、赤と青の印が同時にあります。青い道は、不動滝参道の入口付近へ向けて、ゆっくりと下りていきます。

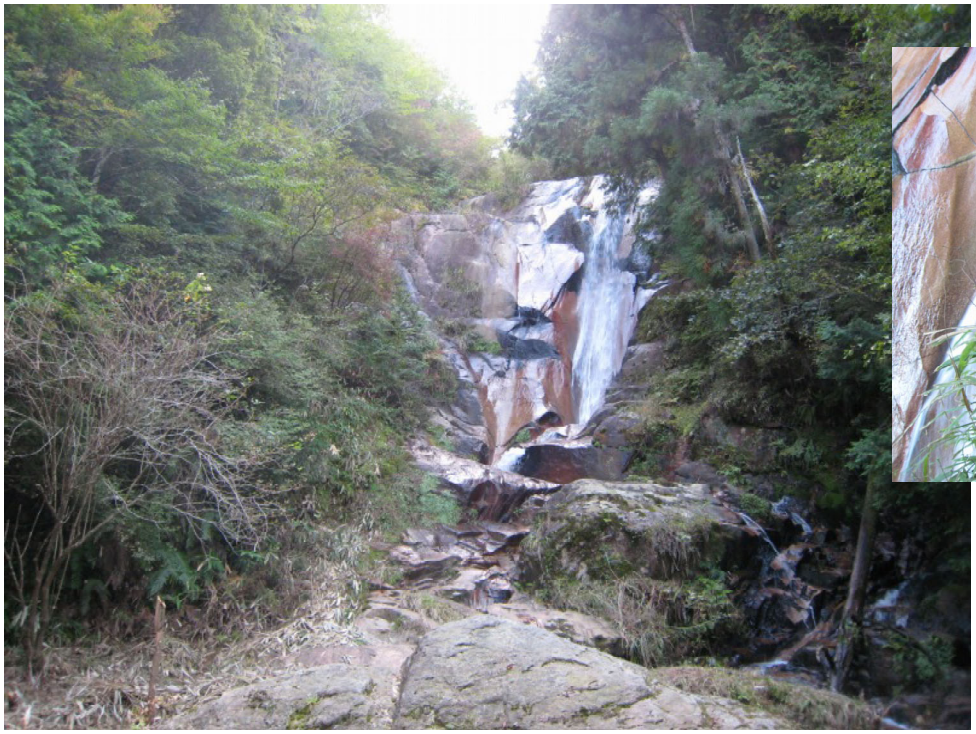
このように大きな岩を通り過ぎます。
こんなに高いところにどうして巨岩が？

植林が見えてきたら、坂も少々きつくなり、ゴールが近いことを思います。
最後は、左の写真のように、不動滝参道へ出ます。

不動滝

不動滝へは、参道を歩いていくのがいちばん歩きやすいです。参道入口（青い道の終点）まで自動車で行けます。参道は、山道ではなく、ハイキングコースのようになっています。





参道を約20分歩いて、不動滝へ出ます。落差20メートルの荘厳な滝です。上の写真、滝の中ほどに、不動明王が岩盤に彫られています。（写真の中心部です）

牛場川

滝の左側を、ロープを伝って滝の上へ登ることもできます。滝の上は、1km上流に民家があり、そこから滝の上へ向かって入ることができます。舗装はありませんが、軽自動車なら、滝のすぐ上まで入ってこられます。歩いても、気持ちの良い散歩ができます。

不動橋を渡ると、山神閣へ登れます。

不動滝のすぐ上です。右の写真のように、滝を上からのぞくこともできます。

緑の道

牛場川の不動橋を渡り、左へ向かうと、緑の道が始まります。すこし坂が急な箇所もありますが、終わりの方はゆるくなり、赤い道の山神閣付近へ行き当たります。

黄色い道

不動の滝参道の、不動滝の少し手前、上りと下りがわかれるところで、分岐があります。そこが、黄色い道の入口です。黄色い道は、植林を見ながら登っていきます。すこし勾配が急です。とはいえ、あまり距離を行かないうちに、青い道に出ます。

白い道

不動橋を渡って左へ向かうと緑の道ですが、反対側、右へ向かうと、白い道です。

小さな川を渡って、急斜面を登ると、すぐに黄色い道に合流します。
黄色い道は、青い道に出ます。

紫の道

白い道の入口の少し奥、紫の道が始まります。最初は幅の広い道があり、200メートルほどで、小川を横切り、細い道になります。50メートルほどで、別の道に行き当たり、赤い道へ向けて登ります。